

どんな病気があるか、
まずは知ろう！

『女性特有の病気について①』

乳がんや子宮・卵巣の病気、妊娠にまつわるリスクなど、女性特有の病気はさまざまなものがあります。女性ホルモンのことや病気の種類と症状を知り、自分の健康に役立てましょう。自覚症状のない病気を早く見つけて対処するためには、定期的に健診を受けることが大切です。

子宮・卵巣の病気

子宮内膜症や子宮頸がんだけではなく、その他にも様々な病気が潜んでいます。(※1)



卵巣のう腫

<発症しやすい年代>

卵巣にできる良性の腫瘍が卵巣のう腫。初期には自覚症状がありません。腫瘍が大きくなると月経痛や腰痛・腹痛などが起きることがあります。

自覚症状 → 腹部膨満感 20歳代～

子宮筋腫

<発症しやすい年代>

子宮にできる良性の腫瘍が子宮筋腫。30歳以上の女性で4～5人に1人が発症します。不妊症や流・早産の原因となるリスクもあります。

自覚症状 → 月経異常・貧血 30歳代～

卵巣がん

<発症しやすい年代>

卵巣にできる悪性の腫瘍が卵巣がん。全年代で見られますが、40～60歳代での発症が多い。下腹部痛や腹部膨満、不正出血などがみられます。

自覚症状 → 腹部膨満感 40歳代～

子宮体がん

<発症しやすい年代>

女性ホルモンの乱れが主な原因。閉経後の50歳代に発症が多くみられます。肥満、高血圧、糖尿病は発症リスクが高まります。

自覚症状 → 不正出血 50歳代～

(※1)子宮頸がんについては「子宮頸がんの予防と健診」、子宮内膜症については「性成熟期に気を付けたい疾患」に内容を掲載しておりますので、あわせてチェックしてみてください。

気を付けたい病気

高血圧

血縁者に高血圧の人がいる、肥満気味である、塩分摂取量が多い人は、若いうちから**血圧**がどの程度なのか把握しておきましょう。

妊娠時に高血圧がある女性が増えています。**妊娠高血圧症候群**になるリスクが高いため、きちんと対策をとることが大切です。

腎臓病

腎臓は、体内の老廃物を排泄するところです。自覚症状がないため、早期発見するには**検尿**や**採血**が必要です。

慢性腎臓病は、**妊娠高血圧症候群**や**早産**のリスクになる場合があります。

健診結果を見逃さないで!!
若いうちから気にかけるようにしましょう

妊娠・出産にも影響があります

糖尿病

血縁者に糖尿病の人がいる、肥満気味であるという人は**血液検査**や**糖尿病**のチェックをしましょう。

高血糖の方は赤ちゃんの**先天異常**の原因にもなります。また、腎臓や網膜などの合併症が出てくる可能性もあります。

①健診・検診を受けましょう

初期には自覚症状がない場合が多いため、年に1度の健診と早期発見のためがん検診を受けましょう。

②かかりつけ婦人科医を持ちましょう

思春期から老年期まで心身の変化に応じた健康相談に乗ってくれます。